

# 令和6年度公的職業訓練効果検証ワーキンググループ【概要】

## 目的

地域の人材育成を効果的に実施するため、令和5年度第2回京都市地域職業能力開発促進協議会において選定された「デザイン分野（WEBデザイン系コース）」の職業訓練について、訓練効果を把握・検証し、今後の訓練カリキュラム等の改善を図る。

## 令和6年度の検証対象

令和5年度に実施した「デザイン分野（WEBデザイン系コース）」の職業訓練のうち、委託訓練、求職者支援訓練から各3コース選定。各訓練コースについて、訓練修了者と訓練実施機関から書面・WEBによるアンケートまたは対面によるヒアリング調査を実施。訓練修了者の同意があった場合、当該訓練修了者を採用した企業にも同様にアンケートやヒアリング調査を実施。

(参考) 検討スケジュール

	令和5年度	令和6年度上半期	令和6年度下半期
中央職業能力開発促進協議会	1月30日 協議会開催		10月2日 協議会開催 1月 協議会開催
地域職業能力開発促進協議会	3月7日 協議会開催 ① 検証対象訓練分野を選定	②	11月21日 協議会開催 地域協議会から検討結果を報告 2～3月 協議会開催 ④ WGから報告
ワーキンググループ (WG)		③ ヒアリング → 結果整理 → 改善促進策(案)検討 選定分野のうち3コース×3者(修了者、採用企業、実施機関)	

## 情報収集対象の産業分野

「デジタル田園都市国家構想基本方針」において、令和8年度末までに国全体で230万人のデジタル推進人材を育成することとされており、公的職業訓練においてもデジタル分野が重点分野に位置づけられているため、令和6年度についてはデザイン分野（WEBデザイン系コース）とした。

## 情報収集（ヒアリング）実施状況

○ヒアリング実施時期 令和6年7月～8月

○ヒアリング実施者 京都労働局、京都府、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 京都支部

○ヒアリング先

①職業訓練実施機関 公共職業訓練（委託訓練） 2機関（内1機関は対象分野訓練を2コース実施）  
求職者支援訓練 2機関（実施3機関のうち、1機関は回答なし）

②職業訓練修了者 公共職業訓練（委託訓練） 有効回答数 29名（内、関連職種就職者 16名）  
求職者支援訓練 有効回答数 21名（内、関連職種就職者 7名）

③職業訓練受講者採用企業 5社

# 検証対象コースについて

## 委託訓練

Web・IT人材育成科					
訓練期間	4か月	訓練時間	9:20~16:10	想定職種	企業内のECサイト設計、SNSを活用した企画等のコンテンツ制作
訓練目標	ITパスポートの資格取得を目指すとともに、訓練全般を通してWebを活用した広告運用に関わる実習に取り組み、Webプログラミング技能、システム管理、ネットワークセキュリティ対策等に係る知識を習得する。				
訓練概要	基本レベルのパソコンスキルを持つ者を対象として、4か月間でITパスポートの知識を習得し、Webサイト更新などWeb製作サポート事務、企業内のECサイト設計やSNSを活用した企画等のコンテンツ制作部門等への就労を目指す。	訓練終了後に取得できる資格	ITパスポート試験（任意受験）		

Webクリエイター科					
訓練期間	3か月	訓練時間	9:20~16:10	想定職種	Webクリエイター、企業インハウスデザイナー、ECサイト運営、広報
訓練目標	HTMLタグやスタイルシート等の基礎的技術によるWebページが作成でき、レイアウト構成、ページ構成等、サイト全体の設計を行う知識と技能を習得する。				
訓練概要	パソコンスキルを十分に持ち、Webページ作成技術を活かした就労を希望する者を対象とした3か月間のコースで、Webサイトの作成・更新、ECサイトの運営業務等、Web業界への就労を目指す。	訓練終了後に取得できる資格	Webクリエイター、企業インハウスデザイナー、ECサイト運営、広報		

Webクリエイター科／中丹					
訓練期間	3か月	訓練時間	9:15~16:15	想定職種	Webクリエイター、Webデザイナー、HP制作アシスタント、広報事務
訓練目標	HTML/CSSをベースにしたホームページ制作の基本スキルを学び、地域企業に必要な情報発信のノウハウを身に付ける				
訓練概要	Webに関する基本的な知識、HTML/CSSの基本的な知識を学び、Web制作の基本的な知識と制作演習を行う。 Webクリエイター能力認定試験エキスパートの資格取得を目指す。	訓練終了後に取得できる資格	Webクリエイター能力認定試験エキスパート（任意受験）		

## 求職者支援訓練

Web&グラフィックデザイナー科					
訓練期間	5か月	訓練時間	9:30~16:00	想定職種	WEBクリエイター
訓練目標	HTML/CSSを使ったWEB制作と併せて、CMSを使ったWEB制作、SEO対策、スマホ対応、アニメーションやデザインの知識を理解し、デザイン系ソフトとしてアドビソフト操作を習得。WEB・グラフィックを作成する上で必要な知識・実務を総合的に習得する。応募書類対策・面接対策も学び、就職のためのポートフォリオを作成し就職に備える。				
訓練概要	ネットワーク、インターネットの仕組みを理解し、WEB作成等の情報発信の仕組みを学習。また、HTMLによるWebページ作成技術を習得後、画像処理技術を学習。効果的なWeb制作・保守運用が行える能力を習得する。	訓練終了後に取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webクリエイター能力認定試験スタンダード（任意受験）</li> <li>Adobe Certified Professional Photoshop CC2022（任意受験）</li> <li>Adobe Certified Professional Illustrator CC2022（任意受験）</li> </ul>		

広報/事務で活躍できるWebデザイナー養成科（eラーニング）					
訓練期間	2か月	訓練時間	160時間 (総訓練時間)	想定職種	WEBデザイナー
訓練目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webコンテンツ提供事業所においてWebのデザイン・サイト制作の基本作業を行うことができる。</li> <li>Webデザインのスキルを広報/事務職に活かすことができる。</li> </ul>				
訓練概要	Webサイトの構築に必要な素材の作成、HTML/CSSコーディング、静的/動的サイト制作および保守・運用に関する基礎知識および技能・スキルを習得する。	訓練終了後に取得できる資格	ウェブデザイン技能検定3級（任意受験）		

Web制作・ネットショップ制作科（短時間）					
訓練期間	6か月	訓練時間	2時間50分/日	想定職種	Webサイト製作者、Webクリエイター、コーダー
訓練目標	Webサイトのデザイン、制作、フォトデータ加工、HTML/CSSコーディング、CMSサイト制作ができる。				
訓練概要	Webサイト（ネットショップ含）のデザイン及びサイト制作に関する知識及び技能・技術を習得する。	訓練終了後に取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート（任意受験）</li> <li>色彩検定UC級（任意受験）</li> <li>Webクリエイター能力認定試験スタンダード（任意受験）</li> </ul>		

# ヒアリング実施結果概要 (訓練実施機関)

## デザイン分野 (WEBデザイン系コース)

### 【質問】

訓練実施にあたって工夫している点

- Word、Excel、ITパスポート資格対策など、広く学ぶことができる。
- 府内の企業ニーズがあるHP更新やSNSを上手く使える人材育成。
- デジタル関係企業に来ていただき、実際の現場をお話いただく。
- 誰に情報発信を行いたいかを大切にしてサイト作成を指導。
- Webを仕事に結びつけるために基礎力をつけることを重視しており、HTML/CSSの時間を多めに設定している。
- 訓練生の就職先の希望により必要な知識が変わってくるため可能な限り訓練生の興味にあわせたカリキュラムを心がけている。
- Dreamweaverなどの最新の内容も取り入れるようにしている。

訓練実施にあたっての国への要望、改善して欲しい点

- 委託単価、奨励金の引き上げ。会場費、人件費、パソコン、教材、新たなソフトなど、物価上昇に合わせて見直しをしてほしい。
- 就職支援経費支給要件の見直し。支給要件のハードルが高い。就職後試用期間があった場合、それが就職支援経費対象にならない等、現状にそぐわない内容となっている。
- テキスト代が値上がりしており、上限値段を引き上げてほしい。
- 訓練の休みが多い方や就職への意欲が無い方へ、ハローワークへの通所時に受講生の指導を徹底していただきたい。

訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況

- キャリアコンサルタントを6名配置、その他講師にも有資格者多数。
- 月1回のキャリアコンを実施。キャリアコン時以外でも常時相談対応、面接練習、応募書類の添削、作文の添削等をしている。
- 講師自身もつ広い人脈を活用し就職先を紹介することもある。
- キャリアコンサルティングでは訓練生に早めに就職の方向性を考えるよう指導している。
- 履歴書等はメールでも添削を受け付けるようにしている。
- 基本的には特定のキャリアコンサルタントの方で実施するようにしている。

### 【改善案等】

・ 幅広く知識が習得できるカリキュラムは企業からも一定の評価あり。

・ 最新の内容を取り入れたカリキュラム内容を実施するよう努める。

・ 委託費や奨励金等制度改善に関する希望は本省へ伝える。

・ 訓練生への指導については実施機関とハローワークで連携を密にして対応する。

# ヒアリング実施結果概要 (訓練修了者)

## デザイン分野 (WEBデザイン系コース)

### 【質問】

### 【主な回答】

### 【改善案等】

訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの

- WEB・グラフィック制作知識
- 画像編集演習
- HTML+CSS基礎演習
- Webサイト制作演習（応用含む）
- ITパスポート試験対策
- デジタルマーケティング
- HTML、スタイルシートによるWebページ作成技術
- グラフィックアプリケーションの基本操作

訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの

- アニメーション演習
- CMS演習
- スマートフォン対応演習
- JavaScript、jQuery等のWeb専用プログラミング技術
- HTML、スタイルシートによるWebページ作成技術

就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等

- WordPressは実用的な範囲まで教えてほしかった。
- 基本情報技術者試験まで学べるカリキュラム。
- エクセルのマクロ
- AIについてももう少し深く学びたかった。

HTML等とCMSのどちらを使用しているかや、ECサイト販売ではアニメーションやスマホ対応演習は有用など、就職先や担当する業務によりニーズは異なる。

- ・ 幅広に知識が習得できるカリキュラムは企業からも一定の評価あり。

WordPressは採用企業からもニーズがあり、訓練時間数増加を検討する。

# ヒアリング実施結果概要 (訓練修了者を採用した企業)

## デザイン分野 (WEBデザイン系コース)

### 【質問】

### 【主な回答】

### 【改善案等】

職業訓練カリキュラムのうち、採用後に役に立っているもの

- OA事務、営業事務でもグラフィックアプリケーションのカリキュラムが役立つ。イラストレータはペイントとの違いやイラストレータでしかできないことなども教えてもらえるといい。
- 直接HTMLを使うことはなくても、次の工程に引継ぐ際にHTMLの知識が役立っている。また、顧客向けの簡単なサンプル作成、顧客のニーズ把握する際にも必要な知識。
- コミュニケーションに関するカリキュラムがあってもよいのではと思う。

- ・ 就職先や担当する業務によりニーズは異なる。
- ・ 求人者ニーズを把握し、適切にマッチングすることが必要。
- ・ ハローワーク職員の資質向上のため、労働局、京都府、機構が連携し、ハローワーク担当者を対象とした訓練コース及び業界・職業理解のための研修を定期的実施する。
- ・ WordPressは訓練修了者からも希望があり、訓練時間数増加を検討する。

訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等

- WordPressは時間数を増やし、バージョンアップやプラグインの更新方法、エラー時の対応方法も教えてもらいたい。
- OA事務では、VBAやRPAの知識があったほうがよい。
- ITエンジニア（プログラマー）採用時には、ITパスポートよりも基本・応用情報技術者試験を重視している。
- ホームページ作成はWordPressが主流になっておりJavaScriptやHTML、HTTPは需要が高くない。

訓練修了者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例がない場合は想定）

- 浅くても広く知識が習得できる訓練カリキュラムは事業所内研修（OJT）実施時にも指導がしやすい。
- 幅広く知識がある人材は企業からも需要があると思う。
- 専門知識の有無に関わらず向上心が必要。また、トライ＆エラーの繰り返しで同僚や開発者に質問しなければならないことも多く、コミュニケーション能力も求められる。

グループで課題に取り組むなど、コミュニケーション力の向上に関するカリキュラムの設定を行う。